

KVK 流し台用シングルレバー式混合栓用分岐金具 施工説明書

ZK5011PN・ZK5021PN〈各仕様共通〉


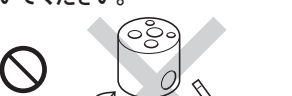



施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
この施工説明書はZK5011PN仕様のイラストで説明しています



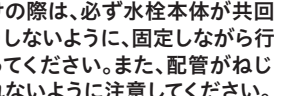
KVK取り付け対象混合栓 ZK5011PN ▶▶ KM5011タイプに適合
ZK5021PN ▶▶ KM5021T・KM5031(T)タイプに適合

安全上のご注意

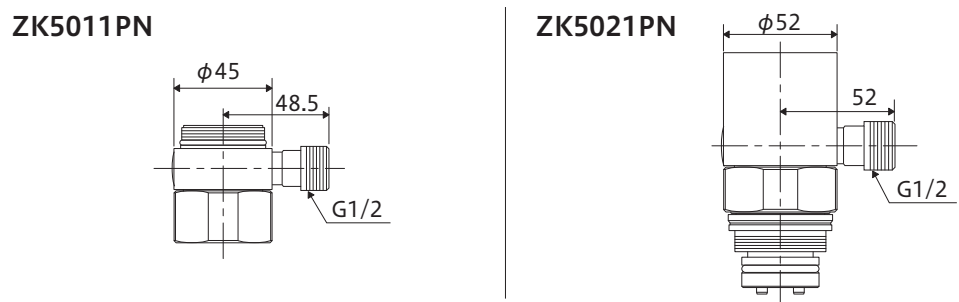
- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です **!** この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分岐金具の蓋は接続時以外ははずさないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>接続時以外にはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>食器洗い乾燥機・浄水器・整水器などの作動中は、シングルレバー水栓を使用しないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>水栓金具(および分岐付水栓の場合は分岐水栓)取りはずしは止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p>!</p>  <p>いきなり取りはずしますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	

注意	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>禁止</p>  <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>固定ナットの取りはずしや取り付けの際は、必ず水栓本体が共回りしないように、固定しながら行ってください。また、配管がねじれないように注意してください。</p> <p>!</p>  <p>配管接続部が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
-----------	--	--	---

寸法図



取り付け手順1

1 配管の操作 配管の元栓を閉め、湯水が出ないことを確認してください。

2 既存の本体上部の取りはずし

- 【金属ハンドルの場合】キャップを取りはずし、ねじを六角レンチでゆるめレバーハンドルを取りはずします。
- 【樹脂ハンドルの場合】レバーハンドルを真上に取りはずします。
- スパナ等で固定ナットをはずします。
- カートリッジを取りはずし、カートリッジ底面のOリング(2個)が組み付いている事を確認します。

【注意】 本体が共回りしないように、固定しながら行ってください。配管接続部が破損し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。吐水口を持って取りはずしますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

3 ピンの取り付け

ピン2本を水栓本体のピン穴(凹)にはめ込みます。
【お願い】ピンを湯・水・混合の穴に落とさないようにしてください。

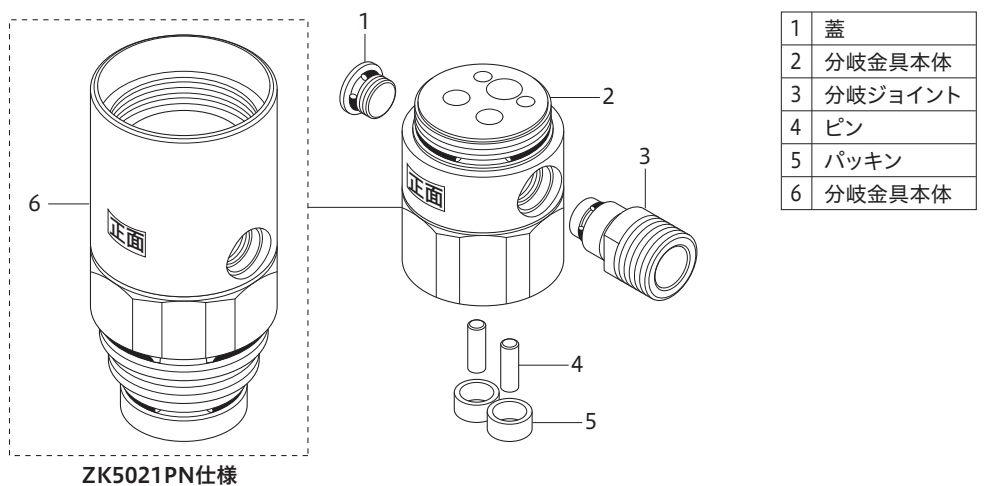
<p>注意</p> <p>食器洗い乾燥機等に接続する場合は、接続機器の最高使用温度を確かめてから接続してください。</p> <p>!</p> <p>最高使用温度</p> <p>最高使用温度より高い温度で使用しますと、接続機器が破損するおそれがあります。</p>	<p>凍結のおそれがある所への設置は避けてください。</p> <p>!</p> <p>凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	---

取り付け前に

- 使用水圧(A=(給湯器の最低作動水圧)+(配管圧力損失))
 - 瞬間給湯器との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯器温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) (比例制御式)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
 - 貯湯式給湯器との組み合わせ (給湯・給水圧力)最低必要水圧:A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧:0.75MPa(静水圧)
- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- 給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- 本製品は改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



4 分岐金具の取り付け

分岐金具底面にパッキン(2か所)があることを確認してください。正面シールを手前に向けて、分岐金具のピン穴(凹)がピン(凸)に合うように上からはめ込みます。確実にはめ込まれていることを確認した後、固定リングをスパナ等で締め付けます。

【注意】

- 本体が共回りしないように、固定しながら行ってください。配管接続部が破損し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。
- 締め付けは二面幅に合わせて確実に行ってください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。

【お願い】固定リングを締め付ける際は、あて布等をして傷がつかないようにしてください。

5 既存本体上部の取り付け

- Oリング(2個)がカートリッジの底面に組み付いていることを確認します。
- カートリッジを分岐金具の上ののせます。
- スパナ等で固定ナットを締め付けます。

【注意】

- 締め付けは二面幅に合わせて確実に行ってください。締め付けトルクの目安は約1750N・cmです。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。
- 本体が共回りしないように、固定しながら行ってください。配管接続部が破損し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。専用工具G26(別売)を使用して本体を保持してください。吐水口を持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがありますので、これらは持たないでください。

- 【金属ハンドルの場合】レバーハンドルを六角穴止めねじで取り付け、キャップをはめます。
- 【樹脂ハンドルの場合】レバーハンドルを「カチッ」となるまではめ込みます。取り付け後、ハンドルがはずれないことを確認してください。

取り付け手順2

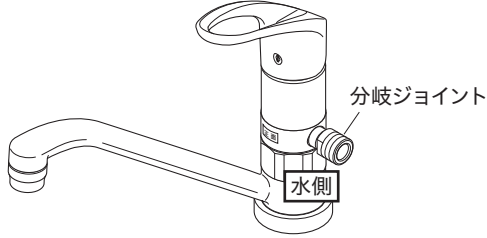
6-1 分岐水栓の取り付け

分岐水栓の使用上のご注意

- 【△ 警告】
- 分岐金具の蓋は接続時以外ははずさないでください。接続時以外ははずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。接続する際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください。
 - 分岐金具は給水・給湯どちらでも使用できますが、浄水器、整水器などをご使用になる場合は、給水接続で使用してください。(分岐水栓を取り付ける際は、取付店またはKVK修理受付センターにご相談ください) また、食器洗い乾燥機の場合、給湯器の設定温度によっては給水接続しかできない場合がありますので、接続する機器の仕様を十分確認してください。
 - 接続の場合は、接続する機器(食器洗い機等)の給水条件および施工上の注意事項をよくご理解ください。
 - 分岐金具以降に接続された設備については保証の対象外となります。

水側分岐をする場合

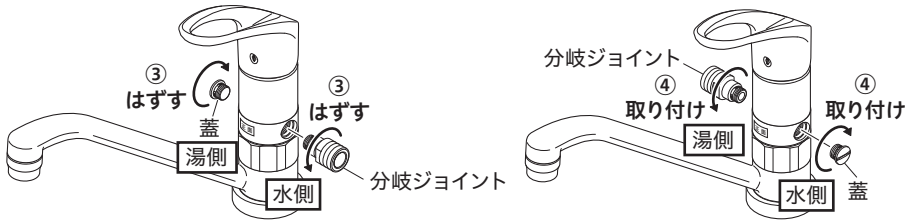
工場出荷時に分岐金具は水側分岐仕様になっています。分岐金具を取り付ける際は、分岐ジョイントが緩まないようにスパナ等で固定しながら取り付けください。分岐水栓を取り付ける際は、分岐水栓の説明書を参照してください。



湯側分岐をする場合 分岐ジョイントと蓋を付け替えます。

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- レバーハンドルを吐水状態にします。
- 右側(水側)の分岐ジョイント、左側(湯側)の蓋をはずします。
- 左側(湯側)に分岐ジョイントを取り付け、右側(水側)に蓋をドライバー等を使って確実に取り付けます。

【△ 注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。分岐水栓を取り付ける際は、分岐水栓の説明書を参照してください。



5 ページ

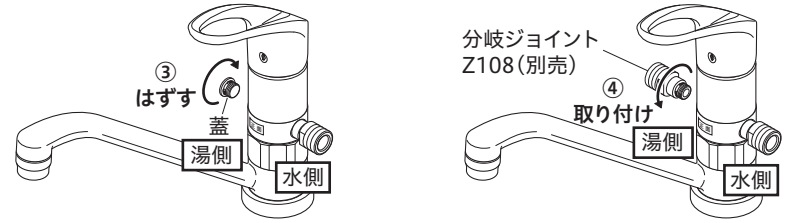
取り付け手順3

6-2

湯・水同時分岐する場合 別売の分岐ジョイント(Z108)を用意してください。

- 湯水の止水栓の止水弁または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- レバーハンドルを吐水状態にします。
- 左側(湯側)の蓋をはずします。
- 左側(湯側)に別売の分岐ジョイント(Z108)を取り付けます。

【△ 注意】締め付けは、二面幅に合わせてモンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。分岐水栓を取り付ける際は、分岐水栓の説明書を参照してください。



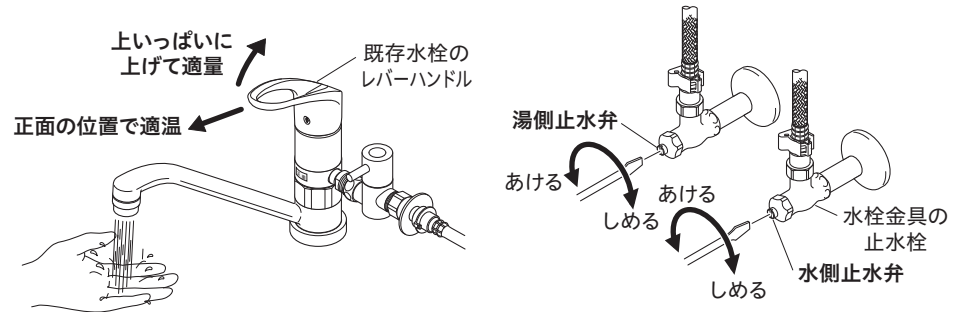
取り付け後の点検

通水確認

【△ 注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

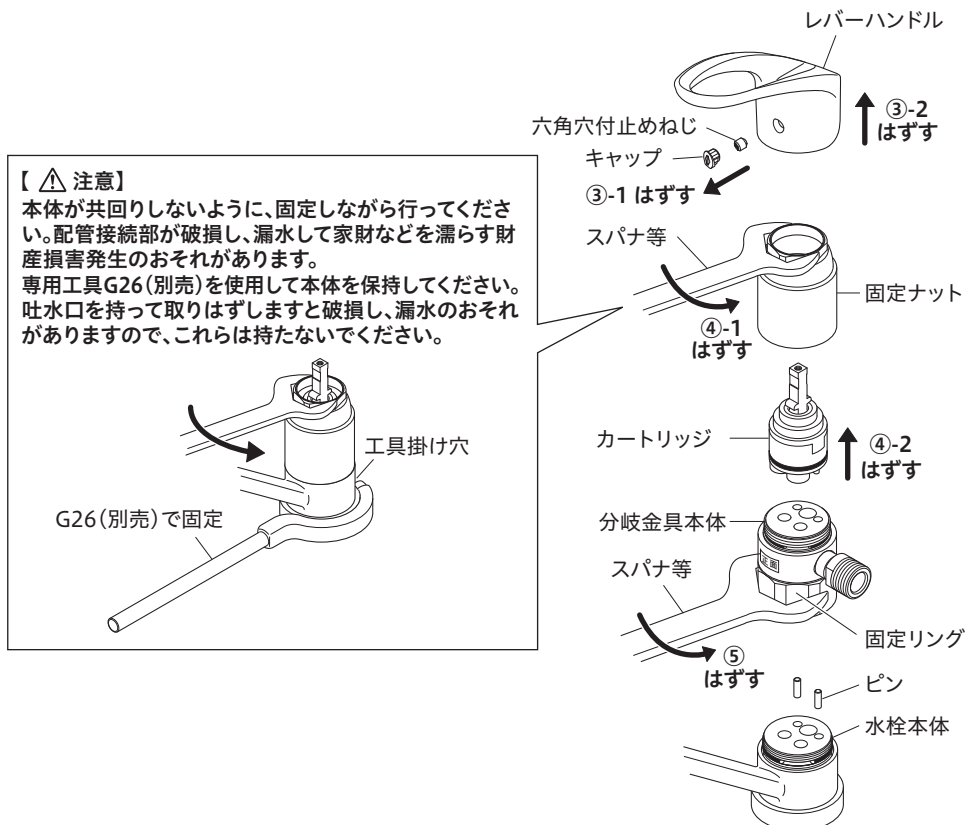


6 ページ

分岐金具本体の取りはずし方法

分岐金具本体を取りはずす場合は、以下の手順で行ってください。

- 【△ 注意】
- 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。
- 湯水の止水弁(2か所)または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを確認してください。
 - レバーハンドルを吐水状態にします。
 - 【金属ハンドルの場合】キャップを取りはずし、ねじを六角レンチでゆるめレバーハンドルを取りはずします。
【樹脂ハンドルの場合】レバーハンドルを真上に取りはずします。
 - スパナ等で固定ナットをはずしてカートリッジを取り出します。
 - 固定リングをスパナ等で取りはずします。
- 【お願い】ピンを湯・水・混合の穴に落とさないようにしてください。



図はKM5011T

7 ページ

故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「湯温・流量調節」
	ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	6ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	6ページ 「湯温・流量調節」
	給湯器から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—

【△ 注意】修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。分岐金具の取り付けまたは水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

8 ページ